

一般社団法人 埼玉県病院薬剤師会

平成26年度 臨時総会

開催日時：平成27年3月24日（火）午後6時30分より
開催場所：ソニックシティビル 9F 905号室

次 第

1. 会長演述 堀口久光（自治医科大学附属さいたま医療センター）
2. 議長、副議長の選出
3. 議事
 - （1）第1号議案 平成27年度事業計画（案）承認の件
 - （2）第2号議案 平成27年度予算（案）承認の件
 - （3）第3号議案 日病薬報告
第49回通常総会
第50回臨時総会
 - （4）第4号議案 その他
4. 閉会の辞 北澤 貴樹（埼玉医科大学病院）

第1号議案 平成27年度事業計画(案)

平成27年度事業計画(案)

【Ⅰ. 事業活動基本方針】

埼玉県民への正しいくすりの知識などの普及啓発活動および薬剤師を目指す学生への教育環境整備のための支援を行う。また薬学に係る業務・調査・研究および医薬品に係る情報提供等の実施により、会員および県内すべての薬剤師の知識と意識の向上を実現するため、研修会および講演会等を提供実施する。「チーム医療への参画と在宅医療への貢献」という観点をふまえ患者の立場に立った医療への貢献を図る。

【Ⅱ. 重点項目】

1. 埼玉県民への医療貢献
 - ①個々の県民が参加できる講演会の開催
 - ②個々の県民が相談できるシステムの実現
 - ③県民が地域で学習できるシステムの実現
2. 会員および県内すべての薬剤師、薬学生、薬事関連事業者への知識と意識の向上
 - ①医薬品の最新情報の提供
 - ②医療の質と安全の実現
 - ③チーム医療の推進
 - ④生涯教育の充実
 - ⑤薬学生教育の支援
 - ⑥薬事関連事業者への支援

【Ⅲ. 事業計画】

1. 埼玉県民への医療貢献
 - ①個々の県民が参加できる講演会の開催
県民のためのくすり講座、おくすり相談会の実施
 - ②個々の県民が相談できるシステムの実現
電話による薬相談、ホームページによる薬相談の実施
 - ③県民が地域で学習できるシステムの実現
各種団体、地域町内会からの依頼への出前講座

2. 会員および県内すべての薬剤師、薬学生、薬事関連事業者への知識と意識の向上

①医薬品の最新情報の提供

病院薬学研修会、ネットカンファレンス、地域ブロック研修会、スキルアップ研修会、向精神薬臨床研修会、学術大会、新任薬剤師研修会等で新しい医薬品を含めた情報提供、適正使用などの知識の普及啓発を行う。

②医療の質と安全の実現

薬剤師の専門性を踏まえ知識や実践力等の向上を目指し、臨床業務実践講座「糖尿病」、感染制御研修会、抗がん剤勉強会、抗がん剤研修会（集中講義）、輸液・抗癌剤調製実技研修会、埼玉緩和薬物療法研修会、精神科領域臨床研修会、精神科薬物療法勉強会、輸液、栄養管理研修会、医療の質・安全管理研修会などを行う。

③チーム医療の推進

平成22年の厚労省医政局長通知にある具体的項目を実施する手助けとなるよう各種研修会のテーマの中で服薬指導、処方支援、フィジカルアセスメント等を取り入れる。

④生涯教育の充実

薬剤師向けの研修会は生涯研修センターの担当委員会で企画・運営・評価を行い、研修単位の付与および認定薬剤師の認証を行う。

⑤薬学生教育の支援

認定実務実習指導薬剤師養成事業におけるワークショップの開催、モデル・コアカリキュラムに準拠した病院実務実習テキスト作成により指導薬剤師の資質向上を計る。

⑥薬事関連事業者への支援

薬事関連事業者が医療制度の変革や技術進歩を薬事研修会で学ぶことで医療関係者との問題点の共有を図ることが重要であり、より大きな患者貢献が期待される。

第2号議案 平成27年度予算（案）

収支予算書内訳表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

〔当期予算〕

勘定科目	実施事業等会計		その他会計	法人会計	合計
	県民の公開講座/相談会	各種研修事業	会報発行事業		
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益					0
特定資産運用益					0
受取入会金					0
受取会費					0
正会員会費		3,400,000		3,400,000	6,800,000
一般会員会費	562,500	562,500		1,125,000	2,250,000
特別会員会費				480,000	480,000
事業収益					0
研修事業収入		4,500,000			4,500,000
広告収入		300,000	700,000		1,000,000
受取補助金等					0
日病薬還付金				2,148,000	2,148,000
受取寄付金					0
雑収益					0
受取利息				10,000	10,000
雑収入				500,000	500,000
経常収益計	562,500	8,762,500	700,000	7,663,000	17,688,000
(2) 経常費用					
事業費					
給料手当	180,000	1,800,000			1,980,000
会場使用料	500,000	2,070,000			2,570,000
会議費	600,000	1,700,000			2,300,000
講演料	800,000	850,000			1,650,000
旅費交通費	382,500	382,500	30,000		795,000
通信運搬費	20,000	200,000	10,000		230,000
備品費	5,000	100,000			105,000
消耗品費	20,000	400,000			420,000
印刷費	700,000		650,000		1,350,000
光熱水料費	1,000	29,000			30,000
賃借料	36,000	324,000			360,000
雑費	10,000	245,000	10,000		265,000
図書費		400,000			400,000
広告宣伝費	350,000	600,000			950,000
	3,604,500	9,100,500	700,000	0	13,405,000
管理費					
給料手当				1,620,000	1,620,000
会場使用料				650,000	650,000
会議費				790,000	790,000
旅費交通費				40,000	40,000
通信運搬費				300,000	300,000
備品費				105,000	105,000
消耗品費				1,004,000	1,004,000
印刷費				200,000	200,000
光熱水料費				180,000	180,000
賃借料				1,440,000	1,440,000
交際費				200,000	200,000
支払手数料				1,200,000	1,200,000
雑費				217,202	217,202
	0	0	0	7,946,202	7,946,202
経常費用計	3,604,500	9,100,500	700,000	7,946,202	21,351,202
評価損益調整前経常増減額	-3,042,000	-338,000	0	-283,202	-3,663,202
基本財産評価損益等					0
特定資産評価損益等					0
投資有価証券評価損益等					0
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-3,042,000	-338,000	0	-283,202	-3,663,202
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
固定資産売却益					0
固定資産受贈益					0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
固定資産売却損					0
固定資産減損損失					0
災害損失					0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額					
一般正味財産増減額	-3,042,000	-338,000	0	-283,202	-3,663,202
一般正味財産期首残高					3,663,202
一般正味財産期末残高					0
II 指定正味財産増減の部					
受取補助金等	0	0	0	0	0

【当期予算】

勘定科目	実施事業等会計		その他会計	法人会計	小計
	県民の公開講座/相談会	各種研修事業	会報発行事業		
受取負担金					0
受取寄付金					0
固定資産受贈益					0
基本財産評価益					0
特定資産評価益					0
基本財産評価損					0
特定資産評価損					0
一般正味財産への振替額					0
当期指定正味財産増減額		0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高					
正味財産期末残高					0

第3号議案 日病薬報告

一般社団法人 日本病院薬剤師会 第49回通常総会報告

開催日時：平成26年6月21日（土）12時30分より16時50分

場所：日本薬学会長井記念館 地下ホール

出席者：藤掛、大塚、姉崎

議事：

一. 協議事項

平成25年度事業報告

収支決算報告・監査報告

定款細則改正案等

次期役員選任について

二. 報告事項

平成26・27年度役員編成

平成26年度日本病院薬剤師会表彰選考結果

平成26年度学術奨励賞・江口記念がん優秀論文賞選考結果

平成26年度病院薬剤部門の現状調査

「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」

平成26年度病院薬局協議会/学術フォーラム

改正薬剤師法施行への対応について

薬学実務実習の在り方検討特別委員会の設置

三. 質問事項

ブロック代表質問. 一般質問. 要望事項

内容：

<冒頭 北田会長挨拶>

医療環境が大きく変化していく中で、今我々薬剤師にとっては非常に大事な時期を迎えている。チーム医療における薬剤師業務の一層の展開、医療の安全確保に対する薬剤師への期待、病棟業務のみならず、外来部門・中央診療部門への薬剤師の参画等、薬のあるところ全てに薬剤師の関わりが求められている。平成26年の診療報酬においても厳しい医療財源の中、がん患者指導管理料の新設、外来化学療法加算の算定対象の変更、無菌製剤処理料の算定対象の変更、在宅患者訪問薬剤管理指導料の増点、療養病棟・精神科病棟での病棟業務実施加算の算定期間の延長等が認められ一定の成果があった。日病薬としては現状に満足せず更なる向上を目指して今後も積極的に取り組んでいきたい。

<改正薬剤師法施行の対応について>

平成26年6月12日付けをもって施行となった薬剤師法25条の2は、その条文のタイトルも「情報の提供」から「情報の提供及び指導」と変わり、条文の文言も「適正な使用のため…必要な情報を提供」から、「適正な使用のため…必要な情報を提供し、及び必要な薬学的知見に基づく指導」へと変わった。従来は「情報の提供」だけであったのが「指導」まで明記されたことで、我々薬剤師は専門的知見の活用を通じて、医師と協働して患者の薬物治療を行い、安全性の確保のキーパーソンとしての活動が今後求められている。

<平成26年度日本病院薬剤師会表彰>

平成26年年度の日本病院薬剤師会賞の表彰式が行われ、埼玉県からは埼玉県病院薬剤師会元副会長の山本加代子先生が功労賞を受賞され、表彰を受けた（代理：藤掛副会長）

一般社団法人 日本病院薬剤師会 第50回臨時總會報告

開催日時：平成27年2月28日（土）12時30分より16時10分

場所：日本薬学会長井記念館 地下ホール

出席者：北澤、藤掛、大塚、姉崎

議事：

一. 協議事項

平成27年度事業計画

平成27年度予算

役員の選任（補充）

名誉会員の委嘱の件

二. 報告事項

平成28年度診療報酬改定への対応

平成26年度病院薬剤部門の現状調査結果

医療安全に関連する通知（1/9, 2/4日付日病薬会長通知）

日病薬病院薬学認定薬剤師制度への対応

専門薬剤師・認定薬剤師の認定申請資格・更新条件の改定

薬学実務実習に関するガイドラインについて

平成27年度病院薬局協議会/学術フォーラムについて

医療上必要な薬剤の市販化に向けた調査検討会の設置について

平成27年度学術小委員会編成

薬剤師賠償責任保険の補償範囲の拡大について

三. 質問事項

ブロック代表質問. 一般質問. 要望事項

内容：

<冒頭 北田会長挨拶>

厳しい医療環境の中で薬剤師は、医療における専門職としての使命と役割を明確にして、医療及び国民の健康に広く貢献することが求められている。本会は、このような状況を踏まえ平成27年度も引き続いて、チーム医療及び医療安全における薬剤師業務の一層の展開、薬剤師の資質向上を図るなど、重要課題の解決に向けて取り組んでいきたい。医療は日進月歩であり、チーム医療の一員としての薬剤師の貢献には、常に最先端の知識と技術の修得が不可欠であることから、薬剤師の資質向上のための研修制度の改善・充実、専門領域の認定薬剤師、専門薬剤師養成に積極的な取り組みを行う。

<日病薬病院薬学認定薬剤師制度（P04）について>

平成26年9月16日付けで、薬剤師認定制度認証機構（CPC）の特定領域認証制度の認証を取得し、平成27年度より実施する。制度名称は「日病薬病院薬学認定薬剤師制度」、認証番号は「P04」となる。本制度の開始により、現行の「日病薬生涯研修履修認定（5年継続）」は「日病薬病院薬学認定薬剤師制度」への移行後に廃止となるが、単年度の「日病薬生涯研修認定制度」はしばらくそのままの形で継続となる。

<薬学実務実習に関するガイドラインについて>

平成27年度から各大学において改訂モデル・コアカリキュラムに基づく新たな教育が始まり、同改訂案を利用した長期実務実習が、その4年後の平成31年度から開始となる。「改訂モデル・コアカリキュラム」では事前・病院・薬局実習が「薬学臨床」に一本化され、「安全で有効な薬物療法の提案とそれを実施・評価できる能力の修得」、及び「チーム医療・地域医療への参画能力の修得」に新たな力点が置かれた。改訂モデル・コアカリキュラムに準拠した薬学実務実習を円滑に実施するために「薬学実務実習に関するガイドライン」が六者懇から提示されたが、今後も毎年見直しを行い、より良いガイドラインを目指す。

第4号議案 その他